

荷物電車列車 回送電車列車

(4) 気動車列車 気動車により主として旅客の輸送をするもので、つぎのとりの種類がある。

準急気動車列車 普通気動車列車 回送気動車列車

2 貨物列車

(1) 急送品列車 鮮魚、野菜等主として急送品貨物の輸送をするものをいう。

(2) 急行小口列車 主として小口貨物の輸送をするものをいう。

(3) 石炭列車 主として特殊の貨車を使用し石炭の輸送をするものをいう。

(4) 普通貨物列車 主として上記以外の貨物を輸送するものをいう。

(5) 準混合列車 貨物の輸送を主とし、一部の区間で旅客の輸送を兼ねるものをいう。

3 その他列車 営業用に使用しないもので、つぎのとりの種類がある。

試運転列車 工事列車 排雪列車 救援列車 配給列車 お召列車 御乗用列車旅客列車と兼ねる場合もある。

上記列車はその運転時期によって、定期列車、季節列車、不定期列車および臨時列車に区別する。(内田富彦)

れっしゃじゅんじょひょう 列車順序表 列車の順序を明示するために、信号扱所または閉塞機のある場所等に掲げる列車名を記した列車番号札である。金属製または紙製の札に、列車番号およびその着発時刻を書き入れたものであって、1葉に1個列車ずつ記載する。前日にその翌日に運転する全列車の列車順序表を整備して、信号機または転轍器等を取扱う順序にそえておく。当日は常時必要な範囲の列車順序表を掲げて、信号扱所等に執務する駅長または信号掛等に対して、列車の取扱順序および着発時刻を明示し、信号機または転轍器等取扱の順序ならびにその時機的確を期する。(内田富彦)

れっしゃじょうむいん 列車乗務員 列車に乗務してそれぞれ定められた職務を遂行するものの総称で、車掌・車掌見習・列車給仕・列車手・車掌区所属の荷扱手がこれにあたる。(加藤誠次郎)

れっしゃしょくどうえいぎょう 列車食堂営業 国鉄における構内営業の1業種で、これは食堂車内において列車内旅客のもとに於て、定食およびこれに類する料理品または他の飲食品を販売することを業とするものをいう。この種の営業は外国においては鉄道自らその経営に当たっている例もあるが、わが国においては当初から部外一般業者をして、その経営に当らせている。昭和13・9までは全国各線区の営業を、それぞれの区間に分ち、東洋軒・精養軒・伯養軒・東松軒・共進亭およびみかどの6営業人にその経営を担当させていたが、昭和13・9、当時の経済統制と企業整備の方針により、以上6社が整理統合され、*日本食堂株式会社が設立されて以来、列車食堂営業を営営するものはこの1社にかざらされていた。最近に至り営業者の複数制を採用することとなり、昭和28・8から株式会社帝国ホテルの経営参加を見、さらに昭和31・11都ホテル、新大阪ホテルを加えて、現在ではこの4社が国鉄における列車食堂営業に従事している。現在国鉄における列車食堂営業の営業区間はつぎのとおりである。

東京・大阪間	第 1, 2, 3, 4	列車
京都・博多 "	" 5, 6	"
東京・博多 "	" 7, 8	"
東京・長崎 "	" 9, 10	"

東京・大阪間	第 11, 12	列車
東京・熊本 "	" 31, 32	"
東京・長崎 "	" 33, 34	"
東京・大分 "	" 35, 36	"
東京・博多 "	" 37, 38	"
東京・門司 "	" 39, 40	"
東京・博多 "	" 41, 42	"
東京・博多 "	" 43, 44	"
金沢・青森 "	" 501, 502	"
上野・秋田 "	" 101, 102	"
上野・仙台 "	" 103, 104	"
上野・青森 "	" 201, 202, 205, 204	"
	207, 208	
函館・網走 "	" 1, 2	"
函配・旭川 "	" 3, 4	"
函館・釧路 "	" 7, 8	"
函館・札幌 "	" 107, 108	"

(織田道明)

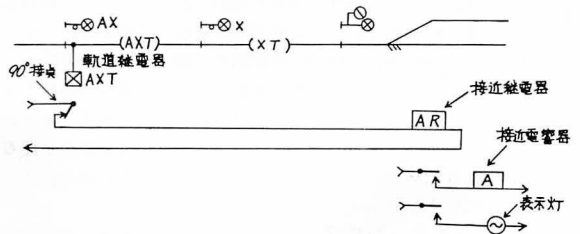
れっしゃせつきんひょうじょうち 列車接近表示装置

(英) approach indicator 広義には列車が接近したことを関係係員に表示して、作業その他について万全を期するために設けられるものである。たとえば踏切警手に対して、踏切道遮断(しゃだん)の時期に誤りないように、適当な時間前に列車が接近しつつあることを自動的に通知させ、もって踏切事故防止に役立たせるもの、あるいは自動閉塞式施行区間において、間断なく停車場に接近する列車を自動的に通知し、停車場の作業に便ならしめるために設けられるもの等がある。

前者は踏切道接近予報装置といわれ、電鈴と接近表示器とからなり、軌条接触器あるいは軌道回路を利用し、踏切番舎に設けられた電鈴を鳴動させるもので、これは踏切警手が確認して自ら鳴止押ボタンを押すことにより、その鳴動を停止させることができるようになっている。電鈴のみの場合は列車接近予報電鈴といっている。

後者は列車接近表示装置といわれ、主として接近電響器が用いられ、後方第2閉そく区間に列車が進入したときに動作し、取扱者がこれを確認して押ボタンを押すことにより、電響器の鳴動を止めることができる。

列車接近表示装置動作回路



図はその動作回路を示すもので、接近継電器ARは後方第2閉そく区間 AXT の軌道継電器の 90° 接点によって励磁されている。また接近電響器AはARの無励磁接点によって励磁されるようになっている。ゆえにAはARが励磁されているときは鳴響しない。今列車が AXT 区間に進入し、軌道継電器の 90° 接点が開放すると ARは無励磁となり、したがって Aは励磁されてブザーが鳴響する。これは列車が後方第1閉そく区間 XT に進入して、さらに AXT を通過し終っても、軌道継電器は 90° 接点を構成しないので、その状態をつづけ、列車が XT